

# 人間ドックオプション検査〆体験しました!!

監修… 本会健康増進部指導医 小堀悦孝

## 第2回 経膈超音波検査

本会の人間ドックでは、経膈超音波

検査を子宮がん検診（内診・細胞診）とセットにして受けることができます。経膈超音波検査は、内診では触れられない部分の情報が画像で得られ、さらに、がん以外の婦人科疾患もわかります。

### ●何がわかる？

膈内に超音波を発生する器具を挿入し、子宮の形や大きさ、向き、内膜や筋層の状態を観察します。また、卵巣や卵管の状態を見ることができ、経膈超音波検査で見つけることができます。

る所見には次のものがあります。

- 【子宮】 子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮筋腫、子宮内膜ポリープなど
- 【卵巣】 卵巣チョコレートのお胞、卵巣のう腫、卵巣がんなど

### ●おススメする人は？

月経痛がある、経血量が多い、不正出血がある、月経周期に異常がある、近親者に卵巣がんの人がいる——これらに当てはまる人は婦人科疾患のリスクがありますので、若年女性も含め、すべての世代の女性に検査をおすすめします。

### ●よくある質問

- Q. 生理中でも検査できますか？
- A. 正しい判定のためには、生理中は避けるのがよいでしょう。
- Q. 女性医師に検査をしてもらいたいのですが…。
- A. 本会では、女性医師も毎日診察を行っております。女性医師を希望される方はお気軽にお申し出ください。

### ●検査を体験した感想

本会の女性検診センターは女性専用エリアになっており、リラックスタイムとして受診することができました。内診台に



吉田 静絵  
本会保健師

座るのは恥ずかしさもありますが、医療スタッフの視線を感じさせない動線やカーテンの長さに配慮を感じました。検査後は、超音波の画像を見ながら医師からの説明があり、その場で大体の結果を知ることができるので、安心して検査を終了することができました。

自覚症状がなくても、子宮や卵巣に異常があることもあります。経膈超音波検査は被曝の心配もなく短時間でできる検査なので、ぜひ子宮がん検診とセットで受けてみてください。

### 経膈超音波検査の流れ

- ①事前に問診票に、初潮の年齢や月経の様子、妊娠・出産歴などを記入



- ②検査当日は受付で検査の流れや注意点を確認

- ③診察室で医師の問診を受けます



#### ★検査中

- ④下着を脱いで内診台に座り、医師による視診（目による診察）、触診（手による診察）の後、超音波の器具（プローブ）を挿入します。検査時間は5分ほどです。

アメニティグッズも用意されています



#### ★検査後

- ⑤内診台から降りて身支度を整えたら、診察室で医師からの説明があります

### 他にもこんな検査があります!

#### ヒトパピローマウイルス(HPV)検査

HPVは性交渉で感染することが知られているウイルスで100種類以上あり、その一部は子宮頸がんとの強い関連があります。子宮頸がんの検査は「細胞診」と「HPV検査」を組み合わせると、前がん病変（がんになる前の段階）の発見率が上がることがわかっています。細胞診で採取した細胞で同時に検査が可能で、さらに感度の高い検査を受けることができますので、おすすめです。

本会健康増進部健康増進課  
☎03-3269-2171